
第9章

**ARENAを
チューンアップする**

09-01

ウインドウに ピクチャやパターン を敷く

●ウインドウにピクチャを敷く

ウインドウ(メールボックスとフォルダ)の背景にピクチャを敷くことができる。ただしウインドウがリスト表示になっている場合は敷いても表示されないので、実質的にはアイコン表示にしているウインドウだけが対象になる。たいていのメールボックスはリスト表示にするのが普通だろうから、現実にはTOP ウインドウと、いくつかのメールボックスを分類のためにあつめたフォルダが“ピクチャを敷く”対象になるだろう。

ピクチャの敷き方は簡単で、画像ファイルを用意しておいて、そのアイコンを貼り付けたいARENAのフォルダ内にドラッグ&ドロップすればよい。

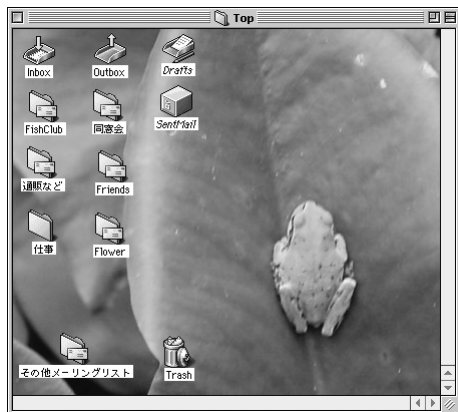
画像はウインドウの左上隅から貼り付けられる(ウインドウのサイズに合わせて伸び縮みするわけではない)。従って、画像のサイズがウインドウより大きいと、一部分しか表示されないし、逆に、画像サイズがウインドウより小さいと、右側下側に“白地”の部分が見えてしまう。しかし、特にTOP ウインドウにあっては、日常的にウインドウサイズを変更する性質のものではないので、そんなに問題にはならないだろう。

図 09-01

用意しておいた画像ファイルをウインドウ内にドラッグ&ドロップすると、画像が貼り込まれる



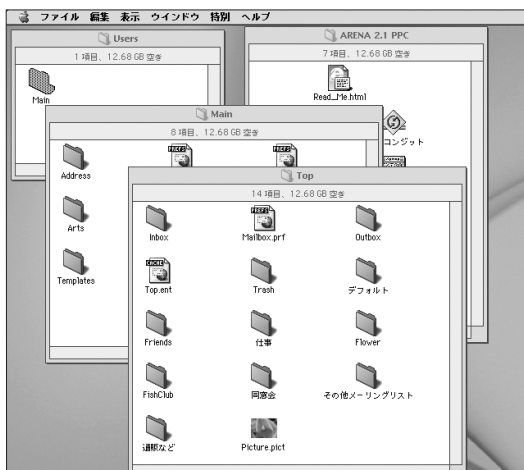
09-01 ウィンドウにピクチャやパターンを敷く



左上隅を起点として貼り込まれるため、ウィンドウサイズを変更すると、余白がでてしまう。画像のサイズに注意が必要だ



図 09-02
ARENA のフォルダの
「Users」-「Main」-「Top」
に「Picture.pict」というフ
ァイルができています



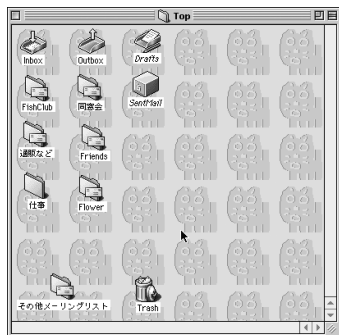
●ピクチャをタイルとして貼る

画像をドラッグ&ドロップする際、option キーを押しながら行くと、画像は“タイル”として貼り付けられる。なお、ピクチャが貼り込まれている場合はタイルより優先されるため、あらかじめ「Top」フォルダから「Picture.pict」を取り除いてからこの作業を行わなければならない。

図 09-03
画像ファイルを option
キーを押しながらドラッグ
&ドロップすると、



09-01 ウィンドウにピクチャやパターンを敷く



パターンとして貼り込まれる



「Top」フォルダに「Pattern.pict」という画像ファイルが添付されている

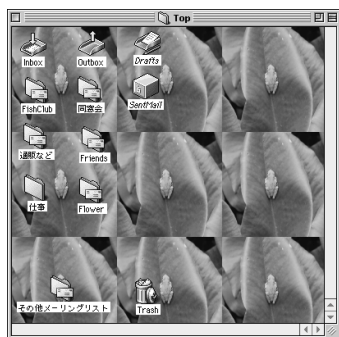


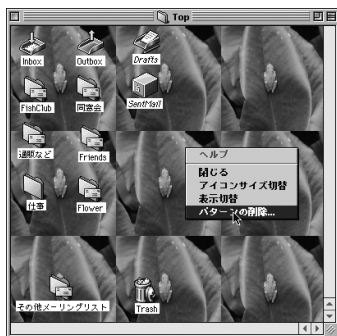
図 09-04
さきほど使った大きな画像を option キーを押しながらドラッグ&ドロップすると、このように縮小されて貼り込まれる

この時、画像サイズが小さい場合はそのままタイルされるが、画像サイズが大きいと、130ピクセル×130ピクセルのサイズに縮小されてタイルされる。

●ピクチャを取り去る

貼り付けたピクチャ（またはパターン）を削除するには、貼り付けたフォルダの“地”の部分（つまりアイコンがない部分）でコンテキストメニューを出し、その「ピクチャの削除」（または「パターンの削除」）から行う。

図 09-05
コンテキストメニューを
使ってピクチャやパターン
を削除できる



●ピクチャのファイルはここにある

先に述べたように貼り付けたピクチャ（パターン）のファイルは、ARENA フォルダの中の「Users」フォルダ中にある、貼り付けたウインドウの名前のフォルダ（たとえばTOPなら「TOP」）に、Picture.pict（または Pattern.pict）という名前で生成されている。

もちろん、ウインドウにドラッグ&ドロップしなくても、ここに直接この名前に付け替えた画像ファイルを置いてよい。

●ドラッグ&ドロップでアイコンを変更する

メールボックスやフォルダ、メールのアイコンは簡単にカスタマイズすることができます。

たとえば「同窓会」というメールボックスに、OS標準の「機能拡張」のアイコンを付けてみることにしよう。Finderで「機能拡張」のアイコンを選択しておき、commandキーを押しながら、ARENAの「同窓会」のアイコンの上にドラッグ&ドロップする。すると、その瞬間に「同窓会」のアイコンは変更される（Mac OS 8.5以降、Mac OS Xを含む）。

Mac OS 8.5より前のOSの場合は、直接ドラッグ&ドロップではできない。そこでいったん「スクラップブック」にアイコンを貼り込んでから、ドラッグ&ドロップする。

09-02

アイコンの変更



図 09-06

Finderのアイコンをcommandキーを押しながらARENAのメールボックスなどのアイコンにドラッグ&ドロップ

●オリジナルアイコンを削除する

オリジナルアイコンを削除するには、そのメールボックスなどのアイコンを選択しておいてコンテキストメニューを出して行く。オリジナルアイコンを削除すると、もとの (ARENA 標準の) アイコンに戻る。

図 09-07
アイコンを削除するにはコンテキストメニューを使う



このアイコンファイルは、Finder の ARENA フォルダのなかにある、そのメールボックスのフォルダの中に「icon.pict」という名前で保存されている。このファイルをゴミ箱に捨てることでオリジナルアイコンを削除することも可能だ。

図 09-08
このファイルを直接削除してもアイコンを取り去ることができる



●ファイルを直接入れても大丈夫

今述べた“icon.pict というファイルが存在する”という特徴を利用して、各メールボックスのフォルダに

直接ファイルを入れることでも、アイコンのカスタマイズは可能だ。

画像ソフトを使って32×32ピクセルのアイコン画像を用意する(MacOS8.6以降では48×48ピクセルでも可)。この画像をPICTまたはPNG形式で保存する。PNG形式の場合はアルファチャンネルが使用できる。設定したアルファチャンネルによって、アイコン画像はマスクされる。PICTの場合はアルファチャンネル機能が使えないため、ARENAでは画像右上隅のピクセルの色を使って、自動的にマスクが生成される。

こうして作成したファイルを「icon.pict」または「icon.png」という名前で各メールボックスのフォルダに入れればよい。

●各種アイコンを一括して変更する

1つ1つのアイコンを個々に変更するのではなく、メールボックスやTrashなど、ARENAの各種アイコンを一括してカスタマイズする方法もある。

画像ソフトを使って32×32ピクセルのアイコン画像を用意する(MacOS8.6以降では48×48ピクセルでも可)。この画像をPNG形式で保存する。

この保存したファイルを、以下に述べる名称で、FinderのARENAフォルダの中の「Arts」フォルダの「Mailbox」に保存する。



図 09-09
画像ソフトを使ってアイコンの画像ファイルを用意する

09 - ARENA をチューンアップする

たとえば「メールボックス」のアイコンをカスタマイズしたい場合は、アイコンの画像ファイル名は「mailbox.png」(または mailbox.pict) にする。

ところで、「Arts」フォルダは2箇所にある。「ARENA」フォルダ直下と、各ユーザのフォルダの中だ。

図 09-10

Arts フォルダは2ヶ所にある



図 09-11

Arts フォルダの中に
Mailbox フォルダがある



ここまで書けば、おそらく“はは～ん”とおわりの通り、直下の「Arts」フォルダ(図ではA)に入れると、全ユーザのアイコンが一括してカスタマイズされ、各ユーザフォルダの中のフォルダ(図ではB)に入れると、そのユーザで使用する画面のアイコンだけがカスタマ

イズされる。

じゃあ、その両方にファイルが入っていたらどうなるか。その場合はユーザの中にあるものが優先される。

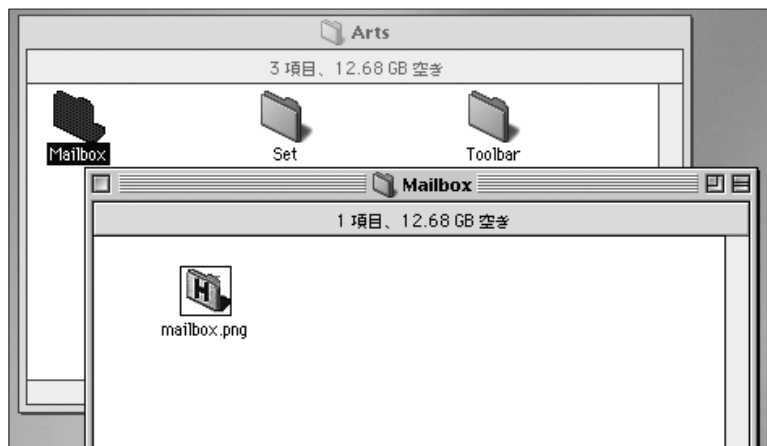












図 09-12
適切な名前前のアイコンファイルを「Mailbox」フォルダに入れると、アイコンが一括して変更される

●アイコンファイルの名称

さて、付けるべきファイルの名前は以下の通りだ。ファイル名を間違えると（当然のことながら）うまく表示されないので注意しよう。

●小アイコンを別途指定することもできる

ARENA ではアイコンのサイズを小さいものに切り替えることができる。この小アイコンのファイルも作成す

	名称	アイコンのファイル名
 Inbox	Inbox	inbox.png
 Outbox	Outbox	outbox.png
 Outbox	Outbox	outboxf.png (未送信のメールが入っている場合)
 Drafts	Drafts	draft.png
 Sent Mail	Sent Mail	sent.png
 Mailbox	メールボックス	mailbox.png
 Folder	フォルダ	folder.png
 Trash	Trash	trash.png (空の状態)
 Trash	Trash	trashf.png (入っている状態)
 デフォルト	POPサーバ	pop.png







ることができる。小アイコンの場合は16×16ピクセルで作成する。ただし、通常サイズのアイコンファイルがないのに、小アイコンファイルだけを作成することはできない。つまり小アイコンのファイルを作成する場合は、通常サイズのアイコンファイルと必ずペアになっている必要があるのだ。小アイコン用のファイルを特別に作成しないで小アイコン表示にした場合は、通常サイズのアイコンが縮小表示される。

小アイコンファイルに付けるべきファイル名は、先ほど述べた各ファイル名の最後に「s」を付けたものになる。たとえば「InBox」用の小アイコンファイルは（通常サイズは「inbox.png」）「inboxs.png」という具合になる。

● ツールバーのアイコン

メールボックスやフォルダのアイコンだけではなく、ツールバーのアイコンも同じ要領でカスタマイズすることができる。初期値としてツールバーに使われているアイコンは PPC 版で 40×41 ピクセル（68K 版で 22×20 ピクセル）だが、大きさの制限は特にならない。これらのファイルは「Arts」の「Toolbar」フォルダに入れる。付けるべきファイル名は下図の通り。

ブラウザー		
	受信	get.png
	送付	send.png
	Top	home.png
	切替	change.png
	新規	new.png
	返事	reply.png
	転送	forward.png
	移動	file.png
	削除	delete.png
	設定	pref.png

コンポーザー		
	即時送信	sendnow.png
	送信待ち	queue.png
	保留	draft.png
	削除	discard.png
	添付	attach.png
	アドレス	address.png

アドレスリスト		
	To	addrto.png
	Cc	addrcc.png
	新規	addrnew.png
	編集	addrdel.png
	消去	addredit.png
	新規リスト	addrnewl.png
	読み込み	addrread.png

この他にもいろんな部分でカスタマイズが可能になっている。いろいろ試してみよう。

09-03

アートセット

●アートセット

上に述べたように、ARENA ではメールボックスのアイコンをはじめ、さまざまな要素がカスタマイズ可能になっている。こうしたひとつずつの要素をそれぞれカスタマイズしていてもいいのだが、“一括”で総とっかえしちやおうという方法も用意されている。それが「アートセット」という考え方だ。

アートセットは、ARENA のサイトの「ダウンロー

ド」ページ (<http://www.arena-p.co.jp/download/>)からダウンロードすることができる。またパッケージ版のARENAでは、CD-ROMの中に入っている。

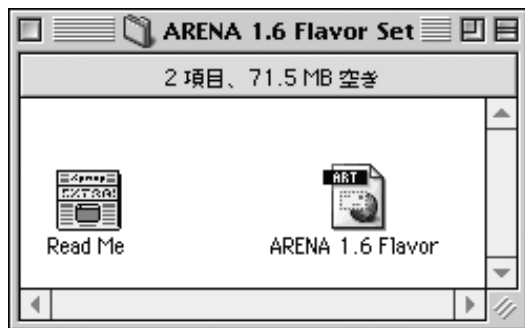


図 09-13
ARENA 1.6 Flavor Set



図 09-14
ARENA 1.0 Classic Set

執筆時点現在で用意されているアートセットは「ARENA 1.6 Flavor」と「ARENA 1.0 Classic」のふたつだ。アートセットとは何か、またどうやって組み込むかを説明する前に、これらのアートセットを使うと、どのようなルックスになるかを図で見ていただきたい。

09 - A R E N A を チ ュ ーン ア ッ プ す る

☒ 09-15
「ARENA 1.6 Flavor」を組
み込んだ場合



☒ 09-16
「ARENA 1.0 Classic」を組
み込んだ場合



図を見ていただくとあきらかなように、アートセットとは、一気に外見を変えてしまうセットなのだ。アートセットの中には、前に述べたアイコンやボタンなどの PICT リソースが取りそろえて入っており、これを組み込むことで、一気にルックスが変化する。

●アートセットの組み込み方

アートセットを組み込むのはきわめて簡単だ。まずダウンロードしてきたファイルを解凍し、任意の場所に置く。続いて ARENA の「編集」メニュー「環境設

定」で「表示／印刷」を選び、その中の「アートセット」タブをクリックする。

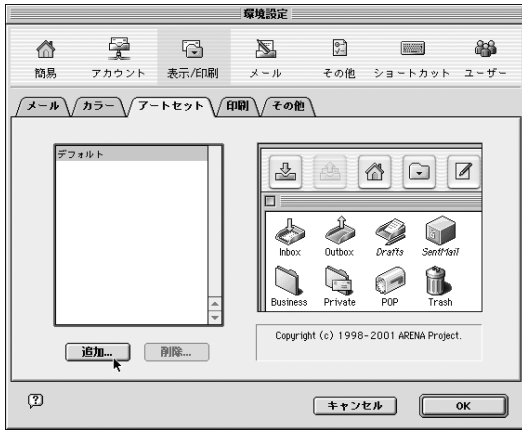


図 09-17
アートセットタブ

このパネル内の「追加」ボタンをクリックし、アートセットを指定する。もちろん複数のアートセットを順番に指定してもよい。すると指定したアートセットがリス



図 09-18
アートセットを指定する

トされるので、その中から使いたいアートセットをクリックして選択する。「OK」ボタンをクリックして環境設定のウィンドウを閉じれば、即座にアートセットが反映される。

図 09-19
アートセットを選択する

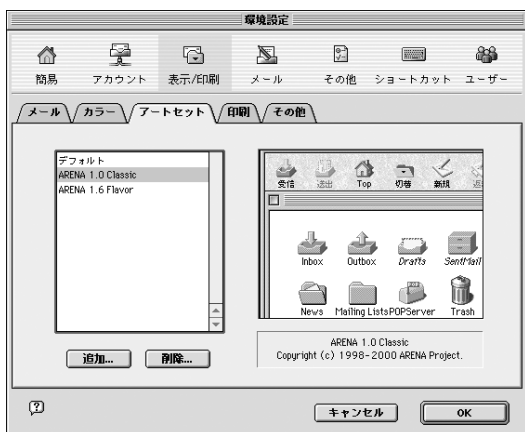


図 09-20
アートセットが反映された



● ArtSet Maker

いま述べたようにアートセットは2種類用意されている。しかし、これとは別にフリーウェアの「ArtSet Maker」というアプリケーションが同じく ARENA のサイトからダウンロードできる。このアプリケーションを使うと、自分でアートセットを作ることができる。

アートセットの作り方は、上記に述べてきたようなさ

さまざまなファイルを作成し、指定された名前のフォルダに格納した後、そのフォルダを ArtSet Maker にドラッグ&ドロップするという流れになる。

詳細は ArtSet Maker に添付されているマニュアル (ReadMe.html) に記されているので、オリジナルな外観が欲しい向きは、ぜひチャレンジしてみてください。



図 09-21
ArtSet Maker

●フォントや行間を変更する

メールの本文の表示 (印刷) に使用されるフォントやそのサイズをカスタマイズすることができる。メールは、特に長文のものになると読みにくいものだが、行間を

09-04

メールをより
読みやすいように
表示する

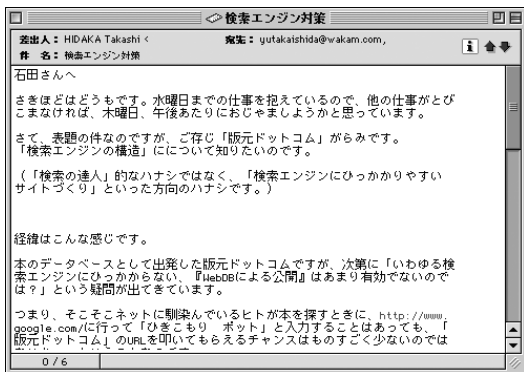


図 09-22
行間が「0」であると、特に
長文はよみにくい

少し広めに取ると、読みやすくなるものだ（ただし ASCII アートはちょっとマスキに見えてしまう場合もあるが）。

このカスタマイズは「環境設定」－「表示／印刷」の「メール」タブで行う。ポップアップメニューからフォントを選び、その横のボックスにサイズをタイプする。

図 09-23
そこで環境設定で行間を「10」ピクセルに指定してみると

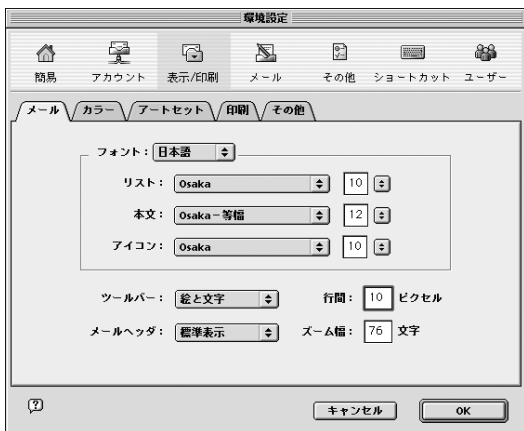
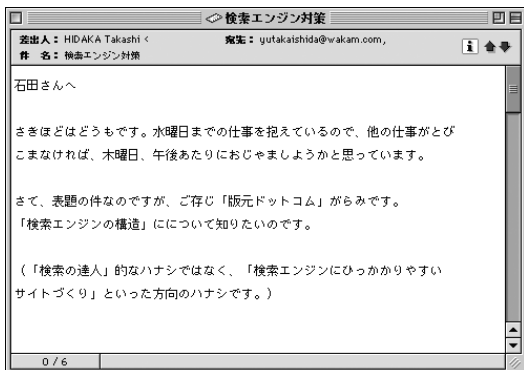


図 09-24
ずいぶん読みやすくなる



●メールの文字や背景に色を付ける

メール本文やメールウィンドウに色を付けることがで

きる。初期値では本文は「黒」、背景は「白」になっているが、これを自由に変更することができるわけだ。

これは「環境設定」－「表示／印刷」の「カラー」タブで行う。



図 09-25
文字や背景の色はここで変更

●ショートカットを自由に割り当てる

メールを読み書きするのは日常動作であるから、毎日 ARENA を使っていると、どうしても繰り返しの多い作業はショートカットで行いたくなってくる。

ARENA はショートカットに対しても柔軟な構造になっていて、ほとんどの動作に対して自由にショートカットを割り当てることができる。メニュー項目にショートカットキーを割り当てるには、「環境設定」の「ショートカット」を使う。

ここには ARENA の各メニューがリストされている。ショートカットキーを割り当てたいメニューを選択して、「設定」ボタンをクリック。でてくるウインドウの中で割り当てたいキーアサインを実際に押す。「OK」ボタンクリックで、このショートカットは登録される。

09 - A R E N A を チ ュ ーン ア ッ プ す る

図 09-26

割り当てたいメニューを選択し、「設定」ボタンをクリック



図 09-27

ショートカットキーを押す





図 09-28
もし登録したいショートカットが他に使われている場合はこのようなメッセージがでる

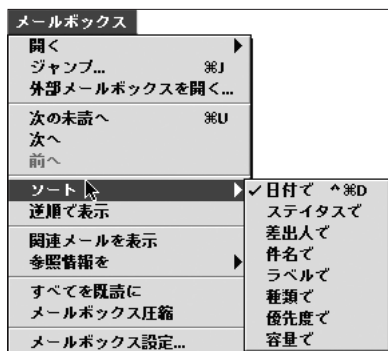


図 09-29
登録したショートカットは、以降、メニューにも付記される（このへんがなかなかイイ）

●着信メロディ

108 ページで述べたように、ARENA はメール着信時に自由なメロディを“着メロ”として使うことができる。これは ARENA が、専用の「音楽用の言語」を持っているから実現できている機能だ。

この「言語」のことを「ARENA Tiny Music Language」、略して ATML という。「言語」と言っても難しいものではない。たとえば、「サイタ、サイタ、

09-05 ATML

チューリップノハナガ」だったら「c8d8e4c8d8e4g8e8d8c8d8e8d8r8」。一見ヤヤこしそうに見えるが、じっくり見ると単純な構造であることが理解できるだろう。「ド」が「c」、「8」は「8分音符」をあらわしている。だったら「d」は「レ」だな、とお分りになったことだろう。最後の「r8」は「8分休符」。

こういう単純な音をどんどん書いていったら、“着メロ”のできあがりってことになる。

●着信メロディの鳴らし方

メール着信時にメロディを演奏させるには、メールボックス（またはフォルダ）を選択後、「メールボックス」メニュー「メールボックス設定」で「メロディを演奏」をチェック、その下の枠にATMLでメロディを記入する。

図 09-30
「メールボックス設定」で
ATMLでメロディを書き込むことで、メール着信時に
それが演奏される



「試聴」ボタンをクリックして、内容を聞くことができる。

●着信メロディ以外の使い方

このATMLはメールの着信時に使える他、メール内に書かれたATML部分を選択し、コンテキストメニューから「メロディ演奏」を選んで演奏させることもできる。

つまりATMLで“メロディをメールで伝える”ことも可能なのだ。相手がARENAを使っていれば、メールの中で見ることができる。もし相手が不幸にも（その人にとってだよ）、ARENAを使っていない場合は、フリーウェアの「ATMLPlay」を使って、ATMLの再生が可能だ。ATMLPlayはARENAのサイトからダウンロードできる。

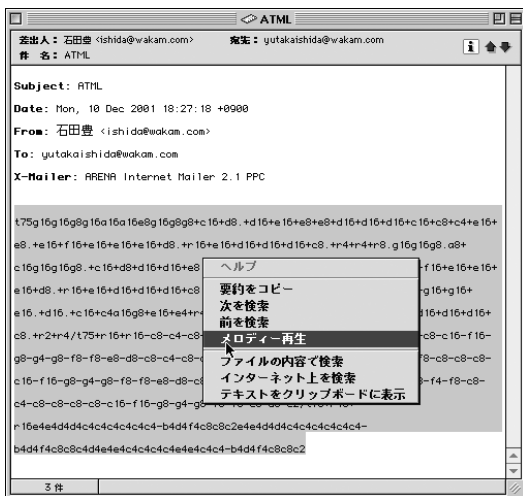


図 09-31

メールの中に書き込まれたATMLを選択し、コンテキストメニューから「メロディを演奏」を選ぶことで演奏が始まる。仲間内でのメロディのコミュニケーションには最適かも

図 09-32

ATMLPlay。これはフリーウェアだから、ARENAを使っていない人に渡すことも可能。ただし、トラック数の多い曲などは再生できないようだ



● ATML のコマンド

ATMLの書式はきわめてシンプルだ。

まず「コマンド系」として、以下のようなものがある。

t + 数字：テンポ

n + 数字：音色

v + 数字：音量

l + 数字：音長

テンポはたとえば「t120」のように書く。数字は1分間の4分音符の個数をあらわす。省略すると「t120」を指定したのと同じに扱われる。音色はGM音源のノート番号に順じ、たとえば「n74」はフルート、「n66」はアルトサックスの音になる。省略すると「n1」と見做され、ピアノの音になる。

音量は「v40」のように書く。最高は「v100」。音長は「l64」で100%。「l128」のように書くと倍の長さに引き伸ばされ、次の音にかぶさる。

こうしたコマンドはどこに置いてもよい。普通は曲の最初に書かれるが、途中で置いてもよい。その位置以降の音に対して有効になる。

コマンドにつづいて音符を書く。音符はドレミファソ
レシが cdefgab であらわされる。休符は r。

cdefgab の後ろに音符の長さを書く。

- 1: 全音符
- 2: 2分音符
- 4: 4分音符
- 8: 8分音符
- 16: 16分音符
- 32: 32分音符

たとえば「c4」は「4分音符のド」であり、「r8」は
「8分休符」になる。

この数字に「.」を付けると付点音符になる。たとえ
ば「8.」で「8分付点音符」。

音符の前に次の記号を書くことで、半音上げたり、
オクターブを決めることができる。

- #: 半音上げる
- +: 1 オクターブ上げる
- ++: 2 オクターブ上げる
- : 1 オクターブ下げる
- : 2 オクターブ下げる

複数の音符をカッコで囲むことで和音を表すことが
できる。たとえば「(c4eg)」で4分音符のドミソの和音
になる。和音全体の長さは、最初の音に付けた音長で
決まる。

ATML は最大8トラックまでのデータを同時に演奏
することができる。トラックは「/」で区切る。

●他のデータを ATML 用に変換する

ATML は自分でシコシコ打ち込んで作る。シンプル
で判りやすい構造になっているので、音楽の素養のあ
る人だったら、すぐにマスターして使いこなせるに違
いない。しかし、音楽の知識がないと(楽譜が読めない)、
それはちょっと難しい。

しかし、そこは ATML の構造がシンプルだからこそ、

他の音楽データを容易に ATML の形式に変換することができる。たとえばインターネットには着メロのデータを集めたサイトが多数ある。その中でテキストの形式で表現されているようなページから、データをいただいできて、ATML 形式に変更するスクリプトを作るのは、そう難しいことじゃない。

たとえば「愛メロ」(<http://www.sn-y.net/chakumelo/>)というサイトがある。ここにはたくさんの音楽データが着メロ用として用意されている。ぼくはこのデータを ATML データに書き換えるスクリプトを HyperCard で作ってみた。

HyperCard はすいぶん“懐かしのソフト”になっちゃったくらいがあるが、今は Apple のサイトから Lite 版がダウンロードできるようになっている (<http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/hypercard2.2litej.html>)。

スタックはこの本の版元であるポット出版のサイトの中にアップしておいた (<http://www.pot.co.jp/arena/>)。ご関心のある向きは、どうぞご自由にお使いいただきたい。

単純なスクリプトで手早く作れたけれど、ATML ではタイとスタックートの指定ができないので、タイがでてくると、トラック間の音のずれが起こってしまう。たぶん「L」を使って対応するんだろうが、なにぶん音楽の素養がまったくないぼくには手が出なかった。

しかし、手軽に ATML が作成できるのには驚いた。なるほどこういうふうにするのね、といった感じ。

●着信警告音を増やすには

着信警告音は OS の警告音をそのまま使っている (いくつかのサウンドが独自に追加されているが)。これをもっと増やしたい場合は、システムファイルの中にサウンドファイルをドラッグ&ドロップすればよい。

09-06

着信警告音

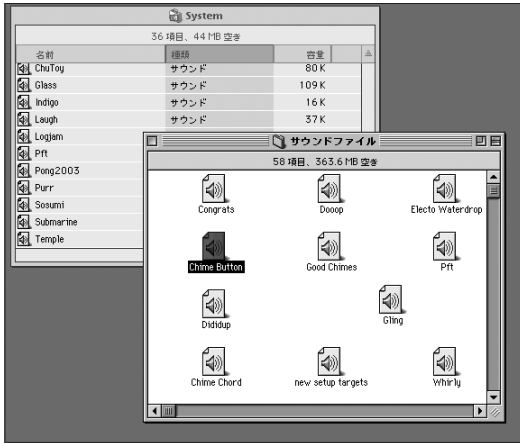


図 09-33
サウンドファイルを System
に入れることで ARENA の
警告音を増やすことができ
る。もちろんそうして増や
したサウンドは、ARENA
以外の場所でも汎用的に使
えるわけだが



●メールのひな形を作っておこう

特に業務上のメールなどでは、いつもいつも同じよう
な内容を書くことが多く、その割には神経を使うので、
何かと面倒。そこでおすすめなのが、メールのひな形

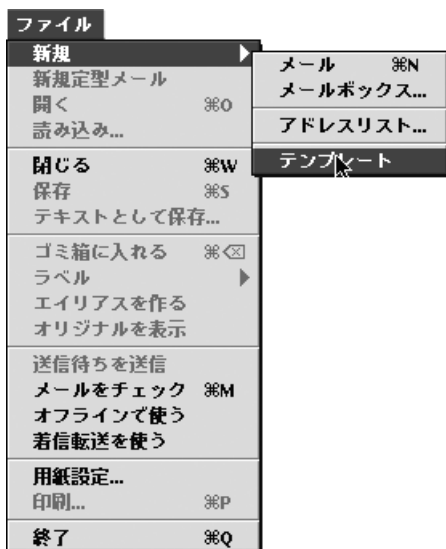
09-07 テンプレート

を作っておくという方法だ。

たとえば「弊社製品に関してお問い合わせをいただき、まことにありがとうございます。お問い合わせいただきました件に関してお答えいたします。」という文面のひな形を作っておくことで、製品の問合せに対するメールにすばやく対応ができるようになる。このような“あらかじめ作っておくメールのひな形”をARENAではテンプレートと呼んでいる。

テンプレートを作成するには「ファイル」メニュー「新規」のサブメニューから「テンプレート」を選ぶことではじめる。

図 09-34
「新規」から「テンプレート」
を選ぶ



「テンプレート」を選ぶと、次の図のような「テンプレートエディタ」のウィンドウが表示される。このウィンドウの中に、“ひな形”にしたいメールの文面を書くわけだ。

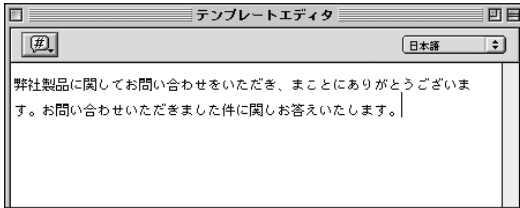


図 09-35
テンプレートウィンドウにひな形にしたいメールの文面を書く

メールの文面ができれば、「ファイル」メニュー「保存」を使って、名前をつけて保存する。

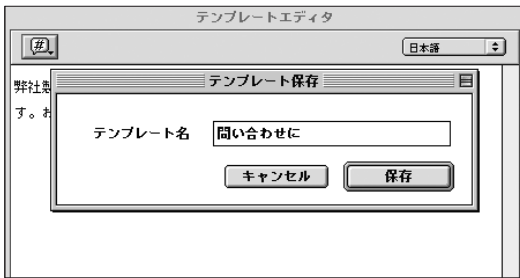


図 09-36
名前をつけて保存する

こうして保存したテンプレートは、たとえば「ファイル」メニュー「新規定型メール」から呼び出すことができる。この他にも、着信メールを選択しておいた状態での「メール」メニュー「返信」のサブメニューからも選べるし、ツールバーの「新規」や「返事」ボタンをちょっと長い時間押していることでも選択することができる。



図 09-37

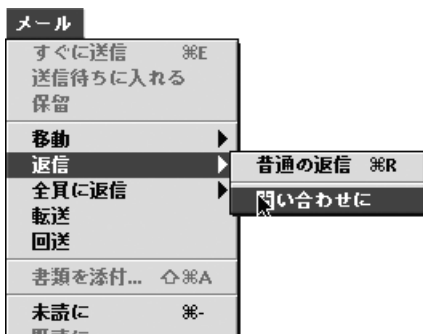
図 09-38

「新規定型メール」からテンプレートを選ぶと、定義した文字列が書き込まれた形での新しいメールのウィンドウが表示される



図 09-39

「返信」メニューや「新規」や「返事」ボタンの長押しでもテンプレートは選べる



●テンプレートにマクロ文字が使える

上にあげた例は固定的な文章からできたテンプレートだが、それとは異なり、こういうテンプレートを書くこともできる。

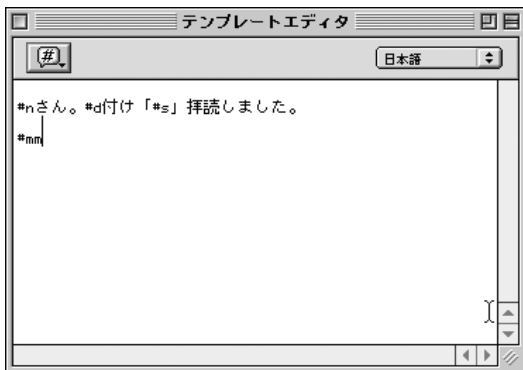


図 09-40
マクロ文字列を用いたテンプレートの例

何のことかさっぱり理解に苦しむテンプレートだが、このテンプレートを着信したメールに対しての返信時に使うと、次の図のようになる。

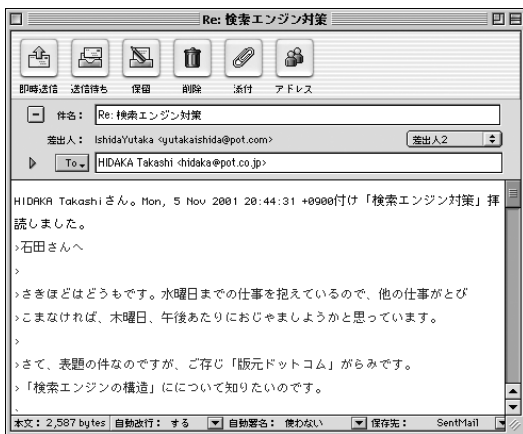
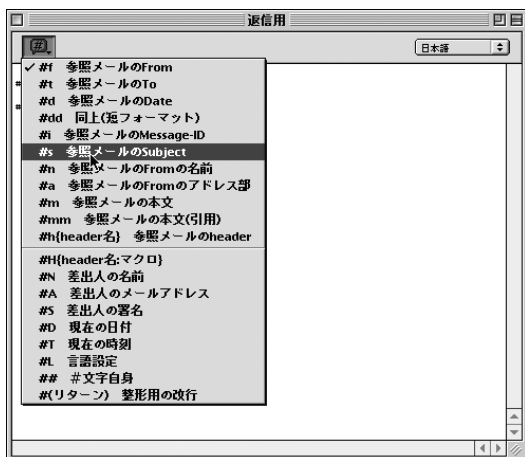


図 09-41
さきほどのテンプレートを返信に使うとこのようになる

つまり、テンプレート中で用いた「#n」という部分が着信メールの差出人の名前（アドレス部分を外したものの）、「#d」がメールの日付、「#s」がメールのタイトル、「#mm」がメールの本文に引用符を付けたものに置換されているわけだ。ARENA のテンプレートではこのように、マクロ文字列を駆使して、ちょっと凝った表現が可能になっているわけだ。

こうしたマクロ文字列は「テンプレートエディタ」の吹き出しのボタンをプレスすることで出るメニューから選択できる。

図 09-42
マクロ文字列はここから選
んで挿入する



マクロ文字はいくつもある。いちいちの説明は割愛するが、ためしに使ってみて結果を観察すれば、すぐに使い方に慣れるものだ。必要に応じて楽しく役立つテンプレートを作っていただきたい。

なお、作成したテンプレートを後から編集し直すには、「ツール」メニュー「テンプレート編集」を使う。



図 09-43
テンプレート編集はここから

● Palm とのメールのシンクロ

小型の PIM 端末として人気の高い Palm は、他の PIM 端末が Mac との連携が不得手な中において、標準で Mac とのシンクロ機能を持っているため、Mac ユーザーには評判がよい。

この Palm と ARENA の間でデータのやり取りができる。できることは

- ・ARENA から Palm へ、メールのコピー
 - ・ARENA メールを Palm Desktop の「予定」または「メモ」として送信
- のふたつだ。

なお、シェアウェアの「Arena Sync!」(<http://www.umap.net/MacPalm/Soft/ArenaSync/index-J.html>) を使うと、メールの「コピー」ではなく、同期ができる。

まずメールの「コピー」について見てみよう。

ARENA の「ツール」メニュー「Palm Sync 設定」を選ぶと図のような設定ウィンドウが現われる。ここでシンクロさせたいメールボックスを選択する。Palm で読むべきメールとそうじゃないメールをうまく分けるため、あらかじめ振り分け機能で設定しておくといだろう。

アプリケーション「HotSync マネージャ」でも ARENA コンジットからの同期を設定しておく。

09-08

Palm とシンクロさせよう



図 09-44
「Palm Sync 設定」でシンク
クロさせたいメールボック
スを選ぶ



これで設定は OK だ。次回 Palm とのシンクロを取
る際に、ARENA で指定したメールが Palm へコピー
される。



図 09-45
「HotSync マネージャ」で
の設定

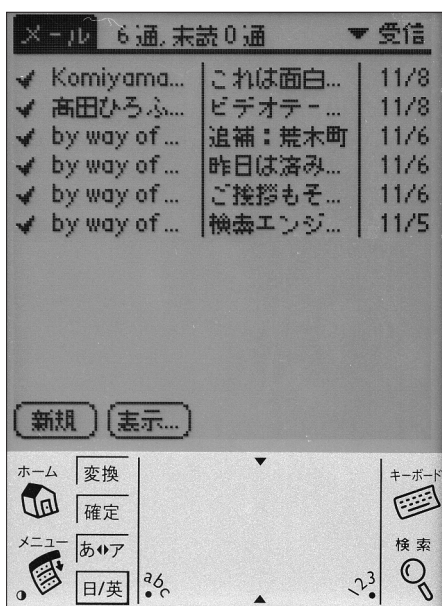


図 09-46
Palm で表示された
ARENA メール

●メモ・予定表データとして

メールを Palm のメモや予定表のデータとして送り込むことができる。打ち合わせのスケジュールを書いたメールなどを予定表に貼り込めば、転記の手間はぶける。

ARENA でメールを選択し、「ツール」メニューの「Palm Desktop に追加」を選ぶ。

図 09-47
メールを選択して

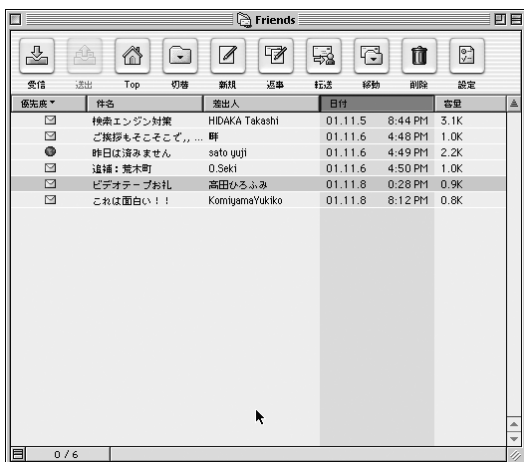


図 09-48
「Palm Desktop に追加」とすると、





図 09-49

「予定」か「メモ」かどちらにどのように追加するのかをダイアログが聞いてくる

ここで「OK」をクリックすると、このデータは「Palm Desktop」に送り込まれる。

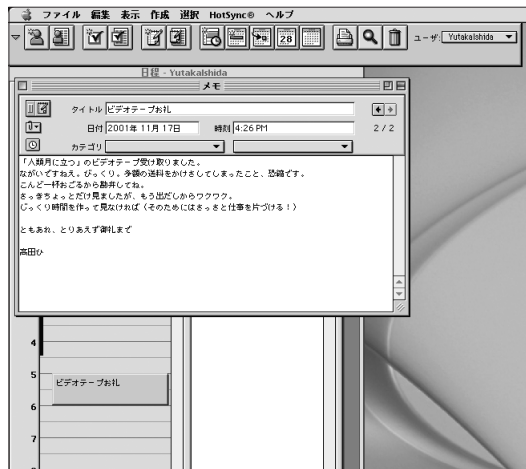
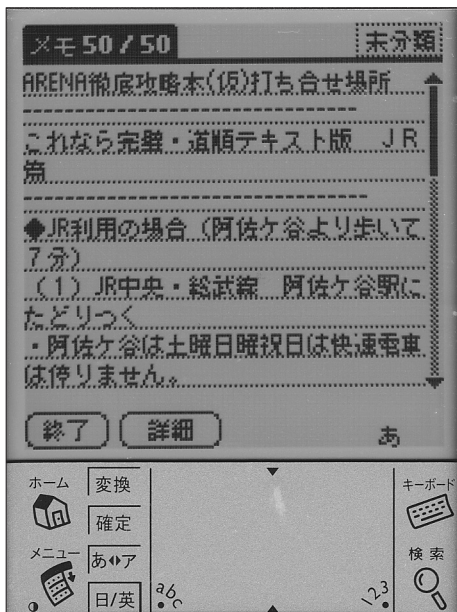


図 09-50

「Palm Desktop」に送り込まれた ARENA のメールアドレス

図 09-51
Palm のメモとして表示さ
れた ARENA のメールデー
タ



これで次回 Palm とシンクロさせた時に、Palm 側にそのデータが送り込まれるわけだ。

09-09

Netscape と併用する際の注意点

● Netscape Communicator 対策

Netscape Communicator はブラウザとメーラーとコンポーザー (HTML 編集) が一体になったソフトだ。そのため、Netscape Communicator のブラウザでメールタグをクリックすると (Mac OS の基本ルールを逸脱して) 指定したメーラーとは無関係に Netscape Communicator のメーラーに引き渡される。Netscape Communicator をブラウザとしては使いたいが、メーラーは ARENA を使いたいという場合には、この機能はどうもうっとうしい。

この対策としては、NetscapePlus (<http://www.vector.co.jp/soft/mac/net/se083619.html>) からダウン

ロード可能) などというアプリケーションもある。これを実行すると Netscape Communicator でメールタグをクリックした場合にも指定のメーラー(つまり ARENA) が起動する。しかしこのソフトなどが有効なのは、ちょっと古いバージョンなどの場合に限られ、Netscape Communicator 6 ではうまく働かないようだ。このバージョンの場合、カスタムインストールでメール部分 (mail&news) をインストールしないことで、OSでの設定のメーラーに引き渡すことができる。ただ、この方法では mail&news がまったく使えなくなってしまう。

そこで、ちょっと手間がかかるけれどおすすめな方式は、Netscape Communicator のメールタグ部分をデスクトップにドラッグ&ドロップし、そこでできるインターネットロケーションファイルをダブルクリックする方法。これなら OSでの設定のメーラー(われわれの場合は ARENA) が起動し、その宛先あての新規メールの画面になる。